



ため、ユーザごとに登録、閲覧権限機能を持つ Web データベースシステムを開発する。以下にデータベースシステム構成とセキュリティ(暗号化)の仕組みの概略を示す。基本設計の概念図を図2に示す。

本研究を推進する以下の背景整備に同時に取り組んだ。

本研究開発にて構築するコホート研究支援臨床データ登録 Web データベースシステムの開発は、以下の事業の推進を強力に推し進める。

1. NPO 法人への展開
2. サンプル収集への展開
3. 企業との共同研究契約への展開
4. 地域資源のブランドアップへの展開
5. 産業誘致と地域創出への展開

大規模で継続するコホート研究の場合は、様々な医療産業にとっても魅力的な地となる。そこに研究所や事業所を誘致し、アクティブな研究を行うことを NPO 法人「るもいコホートピア」は企業に勧める活動を行うことを推進する。北海道の企業誘致に関する公的な助成制度を留萌支庁などの行政と密に連携しながらの活動が推進される。企業だけではなく、大学などの医療福祉学科の分校などと呼び込み、雇用を創出するための誘致活動を積極的に推進される。これらの活動を同時並行で遂行中である。

## 今後の展望

本研究開発により、以下のような製品および事業の推

進が見通される。全体の概念図を左に掲げる。本データベースシステムは、事業全体の根幹を形成し、個々の事業推進の基盤として、さまざまな製品や事業に直結する。

- 医学研究に参加する医師たちが健診活動を行うことにより、地域に経済的負担をかけずに医療密度を上げ市民の健康をまもる事業が形成される。
- 独自のアンチエイジング普及活動で特定健診の受診率を確保、後期高齢者支援金負担増を回避、特別報奨助成金の獲得をめざし、自治体の国保財政をまもる事業を展開できる。
- 医学情報とともにサンプルを収集し、疾病予防・診断のためのバイオマーカー研究に価値のある、「住民の知的財産」形成を促進する。
- 高度で良質な医学研究フィールドを大学の臨床大学院制度と連動させ、若い医師にとって魅力的なキャリア形成・研修の場をつくりあげる事業を展開できる。
- 特定健診データを中心に市民の健康情報を長期にわたり、安全に収集、地域医療連携を支援、医学研究にとって価値のあるデータベースの基盤整備が可能となる。
- 医師だけでなく、看護師、栄養士、保健師、社会福祉士、ケアマネージャー、治験コーディネータなど地域医療を支える多様な人材の育成事業が可能となる。
- 医学研究を行う医療機器メーカーや製薬会社との契約を結び、市民の健康をささえる活動やインフラ整備に充てる資金を持続的に獲得する事業に直結する。

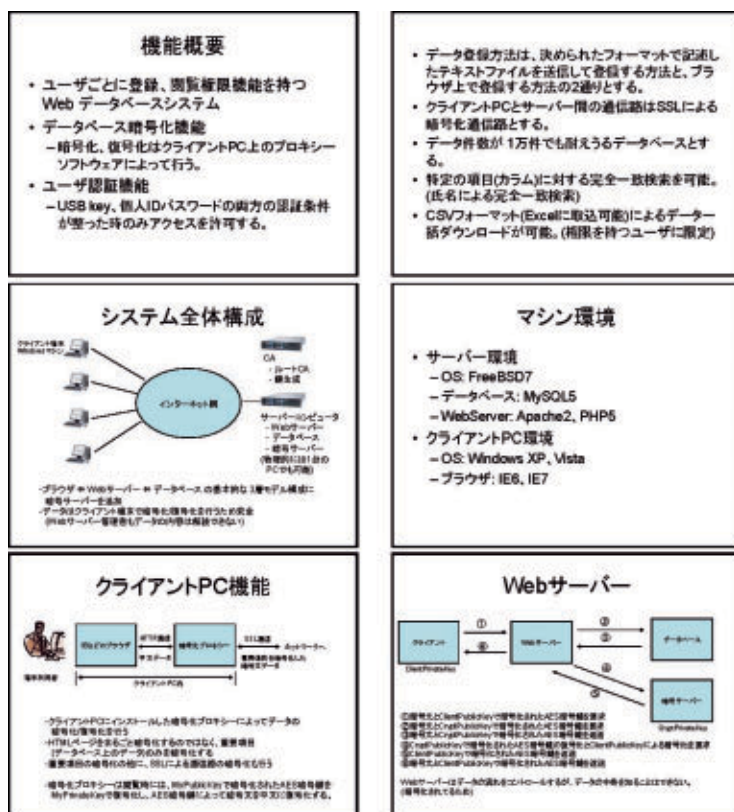


図2 データベースシステム構成とセキュリティ(暗号化)の仕組み